

融資後評価 (PFA)

加盟国は、IMF 融資プログラムを完了した後、融資後評価(PFA)の対象となる場合があります。加盟国の中期的な健全性に関するリスクを特定することと、IMF のバランスシートへのリスクを早期に認識することが目的です。

[PDF をダウンロード](#)

目的

IMF 融資プログラムを完了した国が経済・金融の健全性を維持したうえで、IMF の資金を返済して他の加盟国が利用できるようにします。必要である場合、IMF 職員はマクロ経済の不均衡を是正するための政策措置について助言します。

基準

概して、プログラム終了後も IMF への返済残高が高い全加盟国が対象となります。

IMF に対する返済残高が以下のしきい値のいずれかを超えた場合、IMF 専務理事が理事会に PFA を推奨します。

- 一般資金勘定(GRA)、貧困削減成長信託(PRGT)、または双方からの融資に関して返済残高がクォータの 200%。
- GRA からの融資に関して返済残高が 15 億 SDR。
- PRGT からの融資に関して返済残高が 3 億 8,000 万 SDR、かつ IMF とのプログラムが終わっている。

場合によっては、国が上記の基準に達しても PFA は必要ありません。後継の融資取極か、PCI、PSI、SMP が 6 か月以内に承認されると予想される場合、または加盟国の政策と対外収支が十分に強力であり PFA が正当化できないと判断された場合です。

一方、返済残高が上記のしきい値を下回っている場合でも、PFA が必要になる場合があります。これは、経済状況の展開によって健全な対外ポジションへの進展が危うくなる場合です。

タイミング

融資プログラムの最後のレビュー時に、国の返済残高が指定されたしきい値のいずれかを超えると予想され、後に続くプログラムが想定されていない場合、IMF 理事会が PFA の実施を決めます。ただし理事会は、融資プログラムの期間中または終了後、いつでも PFA を決定することができ、終了後の場合は通常、時間の経過に関する承認を得るために理事会へ提示されます。

期間

IMF に対する返済残高が該当するしきい値を下回るまで続きます。

IMF 理事会は、強力な政策が実施され、対外ポジションが健全であれば、残高がしきい値を下回る前であっても、PFA の中止に同意することができます。

プロセス

各国は、IMF の政策助言サイクルよりも頻繁に IMF との正式な協議を行い、マクロ経済政策と構造政策のほか、国の対外ポジションの健全性や IMF への返済能力に影響を与えるリスクに焦点を当てます。通常、12 か月間に一度、単独の PFA スタッフレポートが理事会に提出されます。